

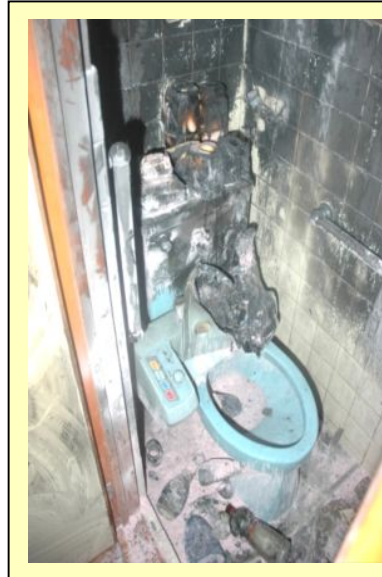
# 温水洗浄便座に起因する火災

## 火災概要

一般住宅のトイレから出火し、付近住人が119番通報及び初期消火(粉末消火器)に成功した建物火災です。

## 原因概要

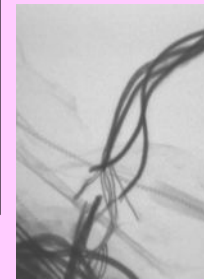
火災の原因は、温水洗浄便座の本体と便座を繋ぐ電気配線に断線が確認されたことから、長期の使用(約20年)により、配線の一部が断線し(半断線)、そのまま使用を続けたことにより、その配線から火花が発生したために出火したものです。



トイレ内の状況は室内全体にすすが付着し、便座の右側根元部分から焼損が見られます。便座本体と便座をつなぐ部分が著しく焼け込んでいます。



ふたの部分を除去した温水洗浄便座の状況



○部分で断線が見られた

配線の取廻しを確認する

ため同型の便座をカットしての電気配線の状況

## 類似火災の防止対策

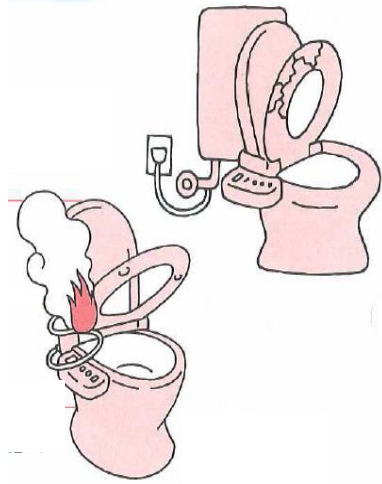
温水洗浄便座も、テレビ、冷蔵庫などと同じ電気製品です。製造業者は、何万回という製品テストを行い商品として販売しています。しかし、今回は、使用する状況、環境(清掃作業等)の違いや故障したままの使用などで、この様な火災に発展した可能性も考えられます。

取り扱い説明書に記載されている注意事項を守り、下記の事項に1つでも該当する場合は、電源プラグを抜き、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へ連絡して下さい。

### 【セルフチェック】

- 本体や便座にひびや割れがありませんか？

- 便座が異常に熱いときや冷たいときがありませんか？
- 電源コードや便座コードにひび割れや傷がありませんか？
- 便座コードがはさまっていたり、傷んでいたりしていませんか？
- 電源コードや便座コードが熱くなっていますか？こげ臭いにおいがしませんか？



※ リコールの対策が取られている他の温水洗浄便座があります。ご注意ください。

※ あらゆる電化製品についても、同様な意識を持って安全に使用して下さい。

.....火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。.....